

TAC魚種以外の広域重要魚種の資源管理について (カタクチイワシ、ブリ、ホッケ、ウルメイワシ、マダラ)

(現状認識)

(資源管理の考え方)

(取組・課題)

カタクチイワシ

- ・系群毎に異なる資源状態
- ・資源や漁獲は海洋環境に大きく影響
- ・シラスから成魚まで満遍なく多様な知事管理漁業で漁獲
- ・特定地域では関係者が連携して資源管理を実施



- ① 系群毎・地域毎に取り組む必要
- ② 資源の変動要因や漁業実態を踏まえると数量管理による効果は？
- ③ 漁獲努力による管理が基本



- ① 系群毎・地域毎に資源管理に取り組む体制を構築する必要
- ② 関係者が資源や漁獲の情報を共有し、取り組むべき措置を検討する必要
- ③ 上記状況を広調委に報告

ブリ

- ・資源水準は高位・増加傾向
- ・資源や漁獲は海洋環境に大きく影響
- ・広範な分布回遊経路は拡大傾向
- ・漁獲の4割は定置網
- ・特定地域では関係者が連携して資源管理を実施



- ① 分布状況から全国一本で資源管理に取り組む必要
- ② 資源状態から早急に漁獲抑制が求められる状況にはない
- ③ 漁獲の5割を占める定置網等沿岸漁業では数量管理を含め漁獲管理に技術的課題が存在



- ① 全国的な取組が求められており広調委で引き続き対応
- ② 関係者が資源や漁獲の情報を共有し、定置網等の漁獲管理措置を検討する必要

ホッケ

- ・資源水準は低位・減少傾向
- ・大臣管理漁業から知事管理漁業まで多様な漁業が利用
- ・漁業者は関係団体、試験研究機関、行政の協力のもと、漁獲努力量の大幅削減に取り組中



- ① 関係するすべての漁業者が協力して取り組む措置として漁獲努力量管理が基本
- ② 定置網等沿岸漁業では数量管理を含め漁獲管理に技術的課題が存在



- ① 漁業者が主体となり、関係団体、試験研究機関、行政が協力して、引き続き取組を推進
- ② 上記状況を広調委に報告

ウルメイワシ、マダラ



資源や漁獲の状況、資源管理の現状を取りまとめ、平成26年秋の広調委で資源管理の方向を議論